

ノース・ドックにオスプレイ



米軍の輸送機オスプレイ3機が、横浜港の米軍施設「横浜ノース・ドック」に飛来、駐機していることが5月26日、基地の監視を続ける市民団体「リムピース」の調査で分かった。市もオスプレイとみられる機体を確認していたが、横浜市は6月6日の市会基地対策特別委員会で、「駐機の目的は機体交換だったと防衛省南関東防衛局から報告があった」などと明らかにした。市議からは安全を求める声が相次いだ。

5月27日の夜には、横浜ノースドックに接岸した米国船籍の民間貨物船 SLNCヨーク (SLNC YORK) から、三機のオスプレイが陸揚げされているが、5月30日、ノースドックを離陸し、横田基地に着陸している。

一方、5月25日に横浜ノースドックに飛来したオスプレイは3機の CV-22 だったが、横浜ノースドックでこの3機の CV-22 オスプレイを積み込み、別の3機を陸揚げした貨物船 SLNCヨークは、6月3日、停泊していた横須賀の錨地を出港している。SLNCヨークは、昨年6月にも、横浜ノースドックで3機の横田基地所属の CV-22 オスプレイを船積みして別の3機を陸揚げした後、那覇軍港に入港して3機の MV22 オスプレイを積み込んでいる。

市の発表

瑞穂ふ頭／横浜ノース・ドックに駐機していたオスプレイについて
防衛省からの連絡事項 2023年5月29日

- ・横浜ノース・ドックに CV-22 オスプレイ3機が駐機していることは事実。
- ・現在、米側に対し、駐機の目的等について確認を行っている。

瑞穂ふ頭／横浜ノース・ドックに駐機していたオスプレイについて
防衛省からの連絡事項 2023年6月6日

- ・横田基地の第353特殊作戦航空団所属の CV-22 (3機) は (瑞穂ふ頭／横浜ノース・ドックに駐機したのち) 異なる CV-22 機体と交換されました。
- ・本機体の交換は定期的に予定されている航空機のローテーションの一環です。
- ・本交換に伴い、現在横田飛行場に常駐する CV-22 の機数に変更は生じません。